

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和7年度12月号

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村 史傳

編集 中村美也子

令和7年12月 5日発行

瀬々野浦 1194 ☎ 5-0122

12月～1月前半の行事予定

12/2 (火)事務局会議

12/3 (水)高齢者健康体操

12/9 (火)主事会 ZOOM 会議

12/14 (日)助八古道を歩こう会・及び懇親会

12/17 (水)高齢者健康体操

12/16 (火)事務局会議

12/20 (土)コミセン忘年会 18時～

12/21 (日)地域内清掃

12/21(日)高齢者 (忘年会・クリスマス会)

12/27 (土)門松づくり

1/1 (木) 拝賀式 10時～その後交歓会

* 伝統芸能を継承する *

力強く「シアノーノー」を舞う

郷土芸能奉納舞「シアノーノー」が披露された。踊り手は藤井薫さん一人。一人でも力強く舞われた。島内外在住の踊り手たちは仕事や諸般の事情で参加できませんでした。伝統ある奉納舞が後世までつながることを切望しています。

スマホの LINE による画像の拡散で出郷者の間でも沸騰していました。



宮野 安弘

* 甕マラソン *

11/9(日)上甕で西山から3人のランナーが力走されました。ゴール直前で応援されていた会長も思わず駆け出してしまうぐらいランナーも応援者も力が入りました。お疲れ様でした。

ゴール時の秀康君



スタート前



* 竜宮フェスタ

11/23(日)上甕で行われました。西山地区のコッパン餅138個や草餅は216個開店から約30分程で完売でした。ヨモギ取りやイモ植え・草取り・カイモうち・コッパ切り・餅つきなどご協力ありがとうございました。フェスタでは舞台発表も活気があり楽しい時間を過ごせました。



コミ協活動

今年のコッパは上出来でした

カイモうち～コッパ切り～コッパ干しまで



カイモうち



皮むきとコッパ切り



千切りコッパを干している

11/11 にカイモうちをし 11/14 にコッパ切りし干して 15・16 の晴天でポキッと音が鳴るまでに乾きました。初めて経験し今度もパワーに圧倒されっぱなしでした。イモの皮むきも早いしザルが次々といっぱいになるし朝9時前から12時まで黙々と・・・ありがたいパワーです。これらのイモがコッパ餅に変身し待望のコッパ餅を買おうと フェスタではあっという間に完売でした。地域の活動に参加してみた中でこの一連の活動が西山のパワーを肌で感じ、できるだけ永く続けていけたらと思いました。これから寒い冬がやってきます。元気に乗り越え来年も勉強させてもらえたらと思います。

主事 中村

【ガネブ (山ブドウ)】



故郷を探る②

コマけずり

表題の「コマけずり」だけでは、何のことかわからない人も多いだろう。なかには「コマとき」という人もいたから益々わからなくなるだろう。要は回す「独楽(こま)」を手作りすることをおのうに言ったのである。

独楽をつくっていたのと、またふしぎに思うだろう。ひもをまいて投げてまわす、あの精巧な独楽が子供が作れるはずがない。こんな独楽ではなくて、我々が作っていたコマは、ムチでたたいて回転させて遊ぶ、いわば「叩(たた)きコマ」と言うべきコマだった。

秋風が吹いて肌寒くなる初冬の頃、直径七・八センチほどの木の枝を切ってきて、友人の一人が木を押さえ、一人がエンピツけずりの要領みたいに、先をとがらせていく。木を回転させながら削っていかねければならないので、回転させる時の指示は「ケド」と言った。きれいに削りあげたら適度な長さで切って独楽の形にする。

この木はシバノキ(ハマビワ)やヘーガラノキ(カンコノキ)がよいといわれた。ムチは、シビ(ガンピ)の木の皮をはいで、それをシノダケの先にくくりつけて、ムチとした。ガンピは上質の和紙をつくる材料となる。

都会では市販の投げゴマやベーゴマに興じていた頃、我々シンヌウラのニガムシどもは鼻水をすすりあげながら、ひたすらコマをたたき続けていたのだった。

* 瀬々野浦方言では「エンピツを削(けず)る」ことを「エンピツを研(と)ぐ」という。

中村史傳

後期：今年 一年ありがとうございました。
来年もよろしく願いいたします。

